

《結果の抜粋と掲載ページ》

■ 調査概要	2ページ
■ 水意識の変遷	
◇ 一番おいしいと思う水「市販のペットボトル入りの水」がトップに…トピック【1】	3ページ
◎ 沖大幹先生による解説～Oki's View～ ①	3ページ
◇ 地球温暖化に伴う気候変動への危機意識“意識している人”が大幅に減少	4ページ
◇ 地球温暖化に伴う気候変動の危機項目トップ3に変化はないものの、自身の生活に直接影響を及ぼす危機には敏感？	4ページ
◇ 温室効果ガス排出ゼロ実現のために毎月払える金額のボリュームゾーンが「500円未満」に	5ページ
◎ 沖大幹先生による解説～Oki's View～ ②	5ページ
◇ 100年後の水をとりまく環境、全体的な数値の減少は環境が変化しないとの予測？	6ページ
◎ 沖大幹先生による解説～Oki's View～ ③	7ページ
■ コロナ禍における日常の水意識	
◇ 手を洗う頻度は約7割、1回あたりの手を洗う時間は約半数が「増えた」 入浴やシャワーの頻度は大多数が「変わらない」	7ページ
◇ 料理の頻度は約3割が「増えた」も、洗濯・掃除は8割超が「変わらない」	7ページ
◇ 海・川・湖に行く頻度は約4割が「減った」	8ページ
◇ 水道料金が「増えた」人は2割程度	8ページ
■ 節水の意識と行動	
◇ 日常生活での節水意識および行動は、昨年からはほぼ変化なし コロナ禍で節水意識が上がった人は2割程度	8ページ
◇ 日常生活で実践していることは項目ごとの取り組み率に変化あり	9ページ
■ 水道水に関する意識	
◇ 水道水の評価は、全体、居住地別ともに昨年とほぼ変わらず	9ページ
◇ 水道水への不満の全体1位「特に不満はない」、女性1位「水道料金が高い」	10ページ
■ 水と災害	
◇ 日頃不安や心配に感じていること、4人に1人以上が「特に感じない」	10ページ
◇ 不安に感じる災害トップ3変わらず。東京圏での数値減少目立つ	11ページ
◇ 災害時の水の備え「ペットボトル入りの水を買って置く」人が過去ワースト2…トピック【2】	11ページ
■ 水と生活・文化	
◇ 市販のペットボトル入りの水を飲む頻度、今後の飲用意向ともに昨年同様	12ページ
◇ 温室効果ガス排出ゼロ実現のために毎月払える金額の平均1,265円…トピック【3】	12ページ
◇ 知っている祝日・記念日で「水の日」の認知率が過去最高	12ページ

【調査概要】

第27回（令和三年度）「水にかかわる生活意識調査」

- ◆ 調査対象数 : 1,500人
- ◆ 調査対象者 : 東京圏(東京、神奈川、埼玉、千葉)、大阪圏(大阪、兵庫、京都)、中京圏(愛知、三重、岐阜)に居住する20代から60代の男女
- ◆ 調査方法 : インターネット調査
- ◆ 調査期間 : 令和三年6月3日(木)～6月8日(火)
- ◆ 回収数(人) :

	東京圏		大阪圏		中京圏		合計		小計
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	
20代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
30代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
40代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
50代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
60代	50	50	50	50	50	50	150	150	300
合計	250	250	250	250	250	250	750	750	1,500
	500		500		500				